

さいたま市立宮原小学校

鳥学校だより

平成29年6月1日 第3号



学校教育目標 心身ともに健やかで主体的に生きる子どもの育成
・たがいに努める子・たがいにきたえる子・たがいに手をとる子

〒331-0812 さいたま市北区宮原町4-102-6
Tel 048-664-5153 FAX 048-664-8989

「いじめ撲滅強化月間」

校長 新堀 栄

学校がいつの間にか青葉で包まれ、初夏の日差しを受けて、木々の緑が一段と色を増した校庭では、館岩少年自然の教室を終えて帰校した子ども達を迎えるかのように、梅檀(せんだん)の木にも薄紫色の花が咲きました。帰校した子ども達の表情は、出発前に比べ逞しく見えました。一段と凛々しさと力強さを感じる表情からも、楽しく充実した三日間を過ごしてきたことを感じました。今年度の自然の教室は、天候にも恵まれ、三日目にわずかに小雨が降りましたが、全ての活動を実施することができました。帰校後の児童の感想には、『友達の大切さ、協力の素晴らしさを知りました』、『家族のありがたさが身にしみて、家族をもっと大切にしようと思いました』、『自然は厳しかったですが、どんなことにも立ち向かえる勇気がわきました』という価値ある尊いものが多数ありました。元所員として、嬉しい限りです。

さて、6月は「いじめ撲滅強化月間」です。連休明け以降のこの時期は、新学期の緊張も解け、児童が内面にストレスを抱えこみやすく、学校生活に適應できないという問題が発生しやすい時期であるとともに、6月にかけては、いじめの認知件数が増加してくる時期でもあります。

既に新聞やテレビの報道でご存じのように、仙台市でいじめにより生徒が自らの命を絶つという大変痛ましい事件が発生しました。これから夢や希望をもって人生を歩むべき子どもが、わずか13歳で自らの命を閉ざさなければならなかった無念さと悲しみを思うと、深い悲しみとともに、全力でいじめの根絶と命を大切に教育に取り組まなくてはならないと思いを新たにしました。

いじめはどの学校でも、どの学級でも、どの子どもにも起こり得ることです。そして、その原因を特定することは難しいのですが、遠因となりうるものをいくつか考えることはできます。例えば、子ども同士で良好な友達関係が保てないこと。子どもが悩みを打ち明ける相談相手となるはずの家庭や学校が機能していないこと。子ども自身がストレスを発散する方法を見付けられないこと。いやなことをいやだと言えない、悪いことはやめようと言えないといった勇気や表現力が子どもに育っていないこと…等々。

「楽しく毎日を過ごしたい」気持ちは、誰もが願う「当たり前」のことです。その当たり前を実現できるように、教職員・児童・保護者全員が「いじめをしない・許さない」という強い決意といじめに気付く目を持たなければなりません。本校では、月曜日の職員集会で「いつも以上に、児童の言動に注意して教育活動を行っているよう」、そう申し合わせを行いました。家庭へのご協力を願うとともに、子ども達の様子から、気になること、気になる様子が見られましたら、一早く学校へご連絡ください。また、「さわやか相談」もご活用ください。

今月の生活目標「友だちとなかよくしよう」

異学年との交流を通して「あったか言葉」を広げています

人権教育の取組から～

5月からの取組として、各教室に「あったか言葉」を掲示しています。これは、友達から言われて嬉しかった言葉を集めて掲示するものです。学校生活の中で友に対して、例えば、「だいじょうぶ？」と温かい言葉を伝えたり、「それもいいね。」や「さすがだね。」と声を掛けたりすることを通して、互いのよさや違いを認め合える子どもたちを育てていきたいと考えています。取組を始めて間もないため、言葉の数はまだ少ないです。これからたくさんの「あったか言葉」が掲示されたり、子どもたちの間で交わされたりすることを期待しています。ご家庭でも、この「あったか言葉」について話題にしていただければと思います。

今月は、算数科の授業研究や「宮小フェスティバル」の取組等を通して、人権教育を推進していく予定です。

館岩少年自然の教室

5月16日から3日間、5年生が館岩少年自然の教室に行ってきました。「友だちと協力・団結!!絆を深めて館岩の自然を学ぼう」をスローガンに掲げ、前山登山、カレー作り、キャンプファイヤー、ナイトハイクなど数多くの自然体験活動を行いました。この体験を通して、また一回り大きく成長した5年生には、高学年として下級生のよき手本となる姿を期待しています。

保護者・地域の皆様へ～お知らせ～

ご協力ありがとうございました。

およそ2週間に渡り実施しました家庭訪問では、限られた時間でお子さんについて、貴重な情報交換をすることができました。今後の指導に生かしてまいります。また引き渡し訓練では、皆様のご協力のおかげで確実かつ円滑に児童の引き渡しを行うことができました。ご協力ありがとうございました。

さらに学校公開では、保護者の皆様はもちろん、地域の皆様にもご来校いただき、ありがとうございました。今後とも本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

「さわやか相談」をご活用ください。

本校では、子どもたちのよりよい成長を支援するため、ご家庭や学校生活におけるお子さんの様子などについて、保護者の方が相談できる機会を設けております。また、相談しやすさをより感じていただくために、今年度から名称を「さわやか相談」に変更しました。担任や管理職、養護教諭など校内の教職員に加え、専門的な相談員〔SC^{*1}、SSW^{*2}〕との相談を行うことも可能です。

【SC^{*1}:スクールカウンセラー】児童や保護者へのカウンセリングや、医療など外部相談機関についての情報提供などをします。臨床心理や児童の発達課題に関して専門的な知識・経験を有しています。

【SSW^{*2}:スクールソーシャルワーカー】福祉制度や社会資源の活用についての紹介及び医療や関係機関、市の支援課や福祉課への橋渡しなどをします。福祉等の専門的知識を有しています。